

研究タイトル	物語の内的真実に気付くことのできる読書の方法とは
要旨	<p>内的真実とは、物語に含まれている、現実と本質的に関連した部分のことで、地域や時代を超えた人間の普遍的無意識を描いたものである。本研究では、物語の内的真実への認知が進んでいないことを問題提起し、内的真実に気付ける読書方法を提案することを目的とした。昨年度提案した方法は読者の読解力に依存した煩雑なもので顕著な効果が認められなかったため、今年度は「共感」という視点を新たに取り上げ、読者が物語で共感した部分を見つけ出し、その感情と現実の体験で起きる感情の関連性を他者と共有する読書方法②を考案した。それをうい物語に肯定的な被験者を対象にした実証実験を行い、物語には現実と関連した部分があると認識できる効果がある可能性が考察された。しかし、現実の物語性に気付ける効果は低いことと、少数の被験者を対象にした実証であったことから、今後はより多くの被験者に実証実験を行い、方法を更に改善することが求められている。</p>